

## な～に谷っ戸ん田 4年目の3回目の記録

### 種まき 竹の運搬

と き 平成22年4月24日(土) 9:30～17:00

ところ 上の作業小屋前、竹林

天 気 晴れときどきくもり(ここ数日間よりは暖かいが日が陰ると寒い)

参加者 園主(テツさん)、石田、尾末、加藤、霧生、久保、坂本、佐々木(利)、佐々木(ユウ)、柴田、高田(ユウ)、高田(マドレーヌ)、高見、高橋、松本(ジュン)、百崎(満)、吉田、ゲスト佐々木(母と子、高橋の職場関係らしい)  
(17名、子ども2名 / は午前の参加、 は早退、 は中抜け、 挨拶冷やかし程度)

#### 【事前準備】

前日、モミ(コシヒカリ)を、殺菌剤(スポルタックスターナ SE 100ml)入れた20kg 桶2杯に浸しておいた(園主)。

#### 【午前・播種準備と播種】

播種機(SUZUTEC 製うすまきオート) / 作業小屋軒下のニワトリとチャボ小屋を移動し設置。

苗箱 / 水とケミクロンG(中性次亜塩素酸カルシウム)250gを入れた浴槽で殺菌(95枚)

モミ(コシヒカリ) / 前日から浸しておいた桶からザルで掬いだし、4枚のゴザに移して干す。

モミ(赤米=紅浪漫、観丹穂) /

1. 脱芒機(Kubota SA 40)でノギ(モミについているひげ)をとる。脱芒機に2回かけた。
2. コシヒカリ用に利用した殺菌液に漬ける(紅浪漫と観丹穂、各一桶)
3. ゴザに移し替えて干す。

土 / 春風床土(クボタ、20kg/袋)48袋運び21袋使用(残、27袋)

播種機を使って、コシヒカリの種まき

#### 【昼食】

作業小屋前で各自摂る。(ちなみに記録者は7イレブンのタンメンとおにぎり、しめて530円ナリ)

北部農政事務所の森係長、吉田さん、福德さんが来田。ごあいさつ賜りました

(土産・差し入れ)

饅頭(森係長)、缶コーヒーとマドレーヌ(園主)、和菓子(霧生さん)

霞ヶ浦産の蓮(松本さん)...25日の霞ヶ浦マラソンのタイムは3時間52分、昨年より記録が伸びたのは谷っ戸ん田による体力向上と内助の功によるもの(記録者分析)

#### 【午後・赤米播種、竹片づけ】

播種機を使って、コシヒカリの種まき(続き)...苗箱80枚完成

モミの量は、1合8尺(30cc、190g) / 苗箱

赤米の種まき(手蒔き)

1. 苗箱に床土を入れ、赤い鉄製の計量板でならす。
2. モミを手蒔き。
3. 土と水かけは播種機の後半部を利用

紅浪漫12枚、観丹穂6枚の苗箱完成。

苗箱をハウスに運び積む。下から5列×16段(コシヒカリ) 5列×2段+2枚(紅浪漫)

3枚+3枚(観丹穂)

ビニールを約5重にぐるぐる巻き、畳へりひもで結わえる。

苗箱の上部に重しを忘れたことに気づき、翌日の作業とする(予習していないことを反省)

モミ（コシヒカリ）の脱芒後、殺菌桶（20kg 桶2杯）に浸す。

15時より竹林に移動して、

竹の運搬、ダンプカーで2回畑に運ぶ。最下部に積んであった竹は片付いた。

タケノコ掘り、3袋分を収穫、皆でいただきました。伸びたモノは蹴飛ばして生長しないようにした。

【その他】

サトイモをいただきました。

4月25日（日）

積み重ねた苗箱の上部に重しを乗せる追加の作業を行う。

参加者：坂本、高見、磯

ところ：作業小屋前、作業小屋裏の畑

作業内容：

1. 苗箱のビニールをいったんとして、土を入れた苗箱を最上部に押さえとして載せ、また元通りにした。
2. 作業小屋裏の畑に暗渠排水を入れる作業を昼まで手伝い、運んであった竹の小運搬と廃ロックウール（排水材の代用）のラベル外した。
3. 磯さんは午後も竹運搬の手伝い。

【記録：高橋 Hi-Lucky 広明】